

(報告様式第3号)

## 改善計画書

事業者名 ( 障がい者支援施設エデンの園 )

(2023年 1月 6日 作成)

改善に向けた事業者のコメント	障がい者支援施設エデンの園では、利用者一人ひとりの生活リズムに合った生活が送れるように数年前より居住空間を6つのエリアに分け、少人数制で日常生活支援や班活動を行っています。各エリアが重点目標を掲げながら、より質の良い支援の提供に繋がるように日々取り組んでいます。 しかしエリアを分ける事で、エリア間の情報共有が十分に図れていない課題もあり、第三者評価結果で挙げられた改善点を現状の課題として受け止め、職員全体で改善・実行をしていきたいと考えております。							
短中長期	No	課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	具体的改善策 (人・予算・情報・手順等)	担当
短期間で出来ること	1	利用者を障がい特性でエリア分けを行い、エリア内での利用者支援に対して職員間で情報を共有する仕組みは出来ていますが、他エリアの職員が担当とは異なるエリアの利用者を支援する場面での情報共有が不十分と考えられます。更なる利用者支援の充実を図るために、職員間の情報収集・共有の仕組みの再構築を期待します。	利用者支援や業務遂行に必要な情報を、各職員が確認する事を定着化できる。	6か月	2023年1月	2023年7月	PC上の掲示板や申し送りにて情報を確認するツールはあるが、確認している職員が限定されているため、確認する事を定着化させていく。申し送り確認者のチェックを行っていく。  他エリアの支援に、担当外のエリア職員が配置となる勤務形態もあるため、支援内容の確認ができる体制を日常から図っておく。そのためには、職員間のコミュニケーションが必要と考える。  利用者様の身体変化に伴い、支援方法や看護職員からの申し送りも変化するため、新たな支援方法や服薬変更等が生じた場合には、職員へ情報が定着するまで、朝礼や終礼で発信を継続していく。  暮らしの24時間生活シートの活用と可視化を図る。	生活支援課

中・長期間 でできる こと	1	組織の中で管理者を含む管理職と一般職の間で意思疎通が図られていないように見受けられます。支援の実際、事業の実行を行う上で、全職員の意思統一は必要不可欠なものと考えます。今後の課題として考えます。	組織で働く職員が事業所のビジョンや目標・行動基準を理解した上で、各職員の役割や目標を理解し、意思を合わせる事が出来る。	6か月 ～1年	2023年1月	2023年7月 ～2024年1月	各種委員会や会議の議事録の確認を行い、確認後は必ず確認のチェックを入れるよう定着化していく。  全職員の職員会への参加が難しい為、毎月のエリアミーティングを活用し、全体周知が必要な情報の発信と、共有を図っていく。  人事考課のフィードバック面談を通し、個々の職員の課題を見出し、効果的な行動計画を上司と部下と一緒に考えていくことが出来る。	生活支援課
	2	利用者や職員の安全を確保する為に、防災計画や防災マニュアルが整備され、施設内での防災訓練・教育に取り組まれています。公的機関や同法人事業所との連携は取れていますが、今後は地域住民や近隣施設との協力体制を構築されることを期待します。	地域住民や近隣施設と災害を想定した合同訓練の計画ができる。	6か月 ～1年	2023年1月	2023年7月 ～2024年1月	地域の民生委員や役場等の協力を得ながら、地域の世帯構成などの実態を把握する。  近隣施設のスタッフや防火管理者をはじめ、施設職員と情報交換会を開き、互いの施設の特性を理解する。	生活支援課
今後検討 すること								